

浜口会長、情報産業振興議員連盟会合に出席

情報産業振興議員連盟(会長：額賀福志郎)の会合が平成24年3月13日、自民党本部において開催され、JISAからは浜口友一会長他が出席し、業界の現状報告と要望を行った。

当日は、額賀会長の挨拶の後、経済産業省商務情報政策局情報政策課 三又裕生課長より、「情報政策をめぐる現状と今後の方向性」のテーマで説明があった。このうち、ITの利活用では、融合新産業創出に向けた取組（平成24年度商務情報政策局予算概要参照(*1))、データの開放・融合によるイノベーション(公共データの開放推進)等の説明があった。

*1:http://www.meti.go.jp/policy/it_policy/yosan/h24fy_yosanseifuan.pdf

次に「IT・エレクトロニクス産業の現状と課題」について、一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)矢野薫会長より報告があった。

浜口会長は、「情報サービス産業の現状と課題」のテーマで、業界の現状を報告するとともに、前半で以下5点の要望を行った。

- ・政府一丸となったIT戦略の推進
- ・個人・企業IDの導入による電子政府の実現
- ・自由化部門における供給元の多様化と省エネ推進
- ・変革を担う高度人材の確保・育成
- ・情報システムの信頼性・安全性の確保

後半は、2月の韓国視察の結果を踏まえ、電子政府について「行政機関は特別な理由がある場合を除き、行政機関の間で電子的に確認できる事項を、国民に証明書などを提出させてはならない」とする基本的な考え方、歴代大統領が国政上の課題としてICTを推進している旨の紹介があった。

(田原)